

## 巻頭言

著者	宮本 貴朗
引用	情報基盤センター年報 情報. 創刊号, p.1
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/00016645">http://hdl.handle.net/10466/00016645</a>

# 巻頭言

## 情報基盤センター長あいさつ

情報基盤センター長 宮本 貴朗

2019年度4月に公立大学法人大阪府立大学は公立大学法人大阪市立大学と法人統合し、新たに公立大学法人大阪が設立されました。それに伴い、大阪府立大学において組織改組が行われ、学術情報センターから分離・独立し、大阪府立大学の情報環境を整備・運用するための組織として新たに情報基盤センターが設立されました。情報基盤センターは、大阪府立大学における教育・研究活動に対してより高度な情報サービスを提供するとともに、大学運営に関わる情報システムの企画・整備を担う組織として、情報の有効利用促進と情報セキュリティ対策の役割を担っています。

近年のICT技術の進歩や大学運営における情報管理の重要性の高まり、および大学自体が高度研究型大学を目指し進化するにともない、情報システムや情報サービスの役割はさらに高度化・複雑化しています。これまでも、キャンパスネットワーク、情報基盤システム、教育支援系システム等の大学に必要となる情報環境に関して議論を深め、整備・運用を進めてきました。今後は、大学統合後の情報サービスのあるべき姿について、情報システムの運用体制や運用のルールを念頭に置きつつ、円滑な統合に向けて鋭意検討を進めてまいります。

一方、本学においても研究・教育に関する情報や教職員・学生の個人情報など、重要な情報は数多くあり、情報セキュリティの維持・向上は継続的に取り組むべき重要事項です。同時に、新大学の設置に備え、情報セキュリティポリシーの策定や情報セキュリティ対策についても検討を進める必要があります。

本学では2017年4月に「大阪府立大学情報格付け取扱手順」を施行し、学内の情報のセキュリティレベルとそれに応じた取り扱いのルールを策定いたしました。また、2018年9月に「大阪府立大学情報セキュリティインシデント対応チーム(OPU-CSIRT) 規程」を施行し、情報セキュリティに関する対策やインシデント発生時の迅速な対応を行うなど情報セキュリティ体制の更なる強化を実施しています。

幸いにも2018年度は重大なセキュリティインシデントは発生していませんが、これまでも継続的に行ってきた教職員対象のセキュリティ講習会の実施、脆弱性情報の提供を始めとする啓発などに加え、2017年度からは情報の取り扱いに関する運用状況の確認を主目的とした情報セキュリティ監査、2018年度からは標的型攻撃メール対応訓練を開始するなど、教職員の情報セキュリティ意識の向上に努めていきたいと考えます。

今後も情報基盤センターとしての責務の重要性を再認識し、利便性の向上、運用面の改善に努めてまいります。これまでの関係各位のご協力に感謝するとともに、引き続きご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。